総合計画策定に向けた大学生とのタウンミーティングでいただいた意見と市の対応

『テーマ：未来の理想的な松山について』　令和5年7月22日（土）14：30～

（※）総合計画は市政の最上位の計画で、行政と市民の共通の指針となるものです。令和７年度からスタートする「第７次松山市総合計画」の策定に向けて、  
将来のまちづくりの主役になる若い世代とのタウンミーティング特別版を開催し、松山市の次代のまちの姿を描くため、意見交換しました。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| ☆ | 意　見　の　内　容 | 対応可能性と  対応時期 | 対応策または不可能な理由等  （新たな総合計画の次代のまちの姿の検討に向けた方向性） | 担　当　課 |
| 1 | 将来にわたって、瀬戸内の魅力を市内外の人にもっと知ってほしい。 | ■可　能  ■対応済  □今年度中  □次年度以降  □検討中  □不可能  ■その他 | 松山市では観光戦略「瀬戸内・松山構想」に基づき、広島地域と連携して国内外に瀬戸内の魅力を発信し、鉄道や船舶事業者、航空事業者とも連携して旅行商品を造成するなど、国内外からの観光誘客につなげています。  皆さんが誇りに思っている瀬戸内の魅力をこれからも大切に活用していけるような次代のまちの姿を新たな総合計画の策定の中で検討します。 | 企画戦略課  総合計画・地方創生担当  089-948-6213 |
| 2 | トップスポーツ選手と市民が交流するまちになってほしい。 | ■可　能  ■対応済  □今年度中  □次年度以降  □検討中  □不可能  ■その他 | 松山市では、愛媛ＦＣや愛媛マンダリンパイレーツ、愛媛オレンジバイキングス等の地域のトップスポーツチームを財政面や施設面で支援しているほか、東京ヤクルトスワローズなどのプロスポーツ選手と市民の皆さんが交流するイベント等を実施しています。  子どもたちが将来に夢や希望を持ち、県外から多くの観光客が訪れて賑わう次代のまちの姿を新たな総合計画の策定の中で検討します。 |
| 3 | 特産品の魅力がもっと広まってほしい。 | ■可　能  ■対応済  □今年度中  □次年度以降  □検討中  □不可能  ■その他 | 松山市では、「まつやま農林水産物ブランド」として、紅まどんな等の柑橘や瀬戸内の銀鱗煮干し、伊台五明こうげんぶどう、松山アボカドなどを認定し、市長自らトップセールスをしたり、ライブコマースで販売するなど、知名度を上げるための取り組みを進めています。  市内外に魅力が伝わり、「松山と言えば〇〇〇」と言ってもらえるよう、新たな総合計画の策定の中で次代のまちの姿を検討します。 |
| 4 | 地域みんなで子どもを育てるまちになってほしい。 | ■可　能  ■対応済  □今年度中  □次年度以降  □検討中  □不可能  ■その他 | 松山市では、子育てのお手伝いをしてほしい人とお手伝いできる人がお互い会員となり支援する「ファミリーサポートセンター事業」や、子育ての経験豊かなおじいちゃんやおばあちゃんが子育ての支援をする「イクじぃ・ばぁばママサービス」の利用助成を行うなど、子育て環境の充実に取り組んでいます。  また、清水小学校の空き教室を活用した「いきがい交流センターしみず」では、子どもたちとの交流や趣味講座などが行われていて、四国初の高齢者の生きがいづくりの拠点となっているほか、まちづくり協議会によるにぎわいイベントや交流スペースが、子どもたちと地域住民の交流の場となっています。  子育て中のパパやママ、子どもたちはもちろん、地域のお年寄りまで、みんなの笑顔があふれる次代のまちの姿を新たな総合計画の策定の中で検討します。 | 企画戦略課  総合計画・地方創生担当  089-948-6213 |
| 子どもの笑顔を地域で守り、育てるまちになってほしい。 |
| 地域の人的資源を活用し、多世代交流が盛んなまちになってほしい。 |
| 5 | インターネットを活用して、子どもたちや高齢者の交流が盛んなまちになってほしい。 | ■可　能  ■対応済  □今年度中  □次年度以降  □検討中  □不可能  ■その他 | 松山市では、災害時に避難所で市民の皆さんがインターネットを使って連絡したり情報収集しやすくなるよう、小・中学校や公民館にＷｉ-Ｆi環境を整備しています。これらを活用して、子どもたちと高齢者がオンラインで交流を楽しむことは、認知症予防や世代間交流、子どもたちの見守りにも期待できると考えられます。  インターネットの活用で地域課題の解決につながるよう、新たな総合計画の策定の中で次代のまちの姿を検討します。 |
| 6 | ボール遊びなど、子どもが満足に遊ぶことができる場所が整ったまちになってほしい。 | ■可　能  ■対応済  □今年度中  □次年度以降  □検討中  □不可能  ■その他 | 松山市では、「ボール遊びのできる公園づくり」を進めています。地域の皆さんでボール遊びのルール作り等をしていただいた公園を対象に市が防球ネット等を設置し、子どもたちがボール遊びのできる公園を18か所整備しています。  子どもたちが安心して思いきり遊ぶことができる次代のまちの姿を新たな総合計画の策定の中で検討します。 |
| 7 | スポーツ施設など、子どもの居場所が増えて、共働きでも子どもが育てやすいまちになってほしい。 | ■可　能  ■対応済  □今年度中  □次年度以降  □検討中  □不可能  ■その他 | 松山市では、総合コミュニティセンターや青少年センター、児童館など、子どもたちが気軽に訪れ自由に過ごせる環境を整備しています。  また、市内企業と「イクボス共同宣言」や「まどんな応援宣言事業所認証制度」を実施するなど、働きながら子育てしやすい職場づくりの機運を高めています。  子どもたちが安心して思いきり遊ぶことができる次代のまちの姿を新たな総合計画の策定の中で検討します。 | 企画戦略課  総合計画・地方創生担当  089-948-6213 |
| 8 | 経済・所得格差で子どもたちが夢をあきらめないまちになってほしい。 | ■可　能  ■対応済  □今年度中  □次年度以降  □検討中  □不可能  ■その他 | 松山市では、教員ＯＢや大学生の協力を得て、ひとり親世帯や低所得世帯の中学生を対象とした学習の場「土曜塾」を実施し、全員が希望する高校に進学しています。  利用者の声を受け、令和5年度からは小学5、6年生に対象を拡充しているほか、家族の世話や家事の負担が大きく、学業や友人関係に影響が出ているヤングケアラーの支援も強化しています。  子どもたちが経済・所得格差で夢をあきらめずに叶えられるよう、新たな総合計画の策定の中で次代のまちの姿を検討します。 |
| 9 | 育児休暇が取得しやすいなど、福利厚生がしっかりした職場が増えてほしい。 | ■可　能  ■対応済  □今年度中  □次年度以降  □検討中  □不可能  ■その他 | 松山市役所は「こどもまんなか応援サポーター」を宣言し、2025年度までに男性職員の育休取得率100パーセントを目指しています。  また、大企業には男性育休の取得率の公表や取得を促す取り組みが義務付けられています。  ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の実現で、働きやすい職場環境が市内に広がるよう、新たな総合計画の策定の中で次代のまちの姿を検討します。 |
| 10 | 心理的、物理的なバリアフリーが進んだまちになってほしい。 | ■可　能  ■対応済  □今年度中  □次年度以降  □検討中  □不可能  ■その他 | 松山市では市内電車の南堀端電停（花園町通り）にスロープを付け、段差を解消するなど道路や施設のバリアフリー化を進めています。また、認知症になっても安心して暮らせる地域づくりを目指し、「認知症サポーター養成講座」を実施するなど、心のバリアを取り除くための啓発活動にも取り組んでいます。  すべての人が互いに認め合いながら共に暮らせる次代のまちの姿を新たな総合計画の策定の中で検討します。 | 企画戦略課  総合計画・地方創生担当  089-948-6213 |
| 11 | 新幹線の開通などで、観光客が他県から訪れやすく、市民にとっても観光客にとっても、市内を回遊しやすいまちになってほしい。 | ■可　能  ■対応済  □今年度中  □次年度以降  □検討中  □不可能  ■その他 | 現在、広域交通の拠点として、ＪＲ松山駅周辺の整備を進めているほか、四国4県の官民でつくる四国新幹線整備促進期成会が、国土交通省に要望を行うなど、四国新幹線の実現に向けて取り組んでいます。  また、地域内の交通拠点である松山市駅前広場の整備も進めています。  市内外の人が便利でスムーズに移動できるよう、新たな総合計画の策定の中で次代のまちの姿を検討します。 |
| 12 | ＩＣＴを活用し、電車やバス、タクシーの自動運転化で、渋滞や交通事故が減ってほしい。 | ■可　能  ■対応済  □今年度中  □次年度以降  □検討中  □不可能  ■その他 | 自動運転は、県内でも令和4年度に中予地域で自動運転バスの実証運行が行われるなど、技術開発が進んでいます。  ＩＣＴを活用して、交通安全対策などの地域課題の解決につながるよう、新たな総合計画の策定の中で次代のまちの姿を検討します。 |
| 13 | 公共交通機関の利用やユニバーサルデザインの導入が進んでほしい。 | ■可　能  ■対応済  □今年度中  □次年度以降  □検討中  □不可能  ■その他 | 松山市駅前広場の整備では、銀天街方面にバスターミナルを集約することで、利用者にバス乗り場を分かりやすくしたり、車道を通らなくても路面電車と郊外電車の乗り継ぎができるようにすることで、乗り継ぎの利便性を高めます。また、花園町通りでは車道を4車線から2車線に減らして、歩行者や自転車が通りやすいように歩道を広げたほか、伊予鉄道が運行する路面電車の低床式車両の導入を支援しています。  公共交通の利便性が向上し、誰もが安心して移動できるよう、新たな総合計画の策定の中で次代のまちの姿を検討します。 | 企画戦略課  総合計画・地方創生担当  089-948-6213 |
| 14 | 違法駐輪の解消など、自転車の交通マナーが良いまちになってほしい。 | ■可　能  ■対応済  □今年度中  □次年度以降  □検討中  □不可能  ■その他 | 松山市では、放置自転車等に警告票を貼付し、撤去しているほか、サイクルガイドによる駐輪場への誘導や定期的に巡回整理を実施する等、放置自転車の解消に取り組んでいます。今後、松山市駅前広場の整備に合わせて中之川通りに路上駐輪場を整備するほか、市役所第四別館前駐輪場の収容台数を拡充する予定です。  また、自転車の交通ルールやマナーは、小中学生・高校生を対象とした交通安全教室や高校や大学での啓発チラシの配布などで、自転車の適正利用の意識向上を促しています。  自転車以外の交通手段も増えることが想定される未来の松山で、誰もが安心して快適に移動できるよう、新たな総合計画の策定の中で次代のまちの姿を検討します。 |
| 15 | 空き家問題で、ニーズに合わせた所有者とのマッチングや地域住民の活用が進んだまちになってほしい。 | ■可　能  ■対応済  □今年度中  □次年度以降  □検討中  □不可能  ■その他 | 松山市では移住者などのニーズに合わせて、忽那諸島の空き家情報を掲載した離島空き家バンク「離島の空き家」を開設しているほか、三津浜地区の「ミツハマル」では空き家の所有者と借り手をマッチングする仕組みを作り、空き家2棟を活用して雑貨店などが小口出店できる「シェアショップ」を整備しています。  古民家などを有効に活用しながら、空き家が増えない定住したくなるまちの姿を新たな総合計画の策定の中で検討します。 | 企画戦略課  総合計画・地方創生担当  089-948-6213 |
| 16 | 文化的な景観整備など、地域資源を活かしたまちづくりを進めてほしい。 | ■可　能  ■対応済  □今年度中  □次年度以降  □検討中  □不可能  ■その他 | 松山市では「美しい街並みと賑わい創出事業補助金」で、歴史的建造物の保全や改修、地域資源を活用した施設整備等の費用を補助しており、令和5年度からはクラウドファンディングも活用しながら取り組みを進めています。  地域固有の文化や歴史、自然などを生かした次代のまちの姿を新たな総合計画の策定の中で検討します。 |
| 17 | インターンシップなどで、松山で就職している人が増えてほしい。 | ■可　能  ■対応済  □今年度中  □次年度以降  □検討中  □不可能  ■その他 | 松山市では、中学生が職場体験学習を行う「まつやまジョブチャレンジ」のほか、大学と連携してデータサイエンティストを育成し、理系人材の地元定着に向けた取り組みを進めるなど、地元企業のことを知るきっかけづくりをしています。  松山で働きたい人、住み続けたい人が増えて、若者の活気あふれる次代のまちの姿を新たな総合計画の策定の中で検討します。 |
| 18 | 商店街の店が増えて、市民の買い物増加につながり、地元の商店街が活性化してほしい。 | ■可　能  ■対応済  □今年度中  □次年度以降  □検討中  □不可能  ■その他 | 松山市では、商店街の空き店舗への出店や、休憩所など、賑わいにつながる交流拠点づくり、キャッシュレス決済の導入などの支援を行い、広域からの集客や回遊促進、リピーター確保につなげています。また、新型コロナウイルス感染症や物価高の影響を緩和するため、プレミアム付商品券の発行やキャッシュレスポイント還元を行うことで個人消費を喚起し、市内経済の活性化を目指しています。  市民の皆さんが気軽に外出する機会が増え、まちなかの活性化につながるよう、新たな総合計画の策定の中で次代のまちの姿を検討します。 | 企画戦略課  総合計画・地方創生担当  089-948-6213 |
| 19 | アウトレットなど松山にない商業施設ができて、買い物に便利になってほしい。 | ■可　能  ■対応済  □今年度中  □次年度以降  □検討中  □不可能  ■その他 | アウトレットなどの新たな商業施設は、一定の集客力があり、出店に伴う雇用創出や経済効果も期待できます。  一方で、出店には民間事業者の判断はもちろんですが、立地場所によっては、中心市街地をはじめとした商業施設や周辺住民の生活環境への影響を考慮する必要があります。  市民の皆さんのニーズを民間事業者等とも共有しながら、市民の皆さんが出かけたくなる魅力あふれる次代のまちの姿を新たな総合計画の策定の中で検討します。 |